

公益財団法人 積善会 曾我病院



山内主任



紙帳票への転記などの無駄な作業を一層し、
給与計算の業務負荷を大きく軽減。



企業情報

公益財団法人 積善会 曾我病院

所在地：神奈川県小田原市曾我岸148

設立：1932年4月

院長：長谷川剛

総病床数：399床

在籍医師：常勤11名、非常勤7名(2016年7月1日現在)
従業員数：339名、法人全体435名(2016年7月1日現在)

施設一覧：同一敷地内に、3法人14施設からなる積善会グループを形成しています

曾我病院／看護専門学校／病院付属社会復帰センター／訪問看護ステーション／介護老人保健施設「リバーイースト」／介護老人福祉施設「ルビーホーム」／ケアハウス「ルビーハウス」／知的障害者入所更生施設「永耕園」／知的障害児入所更生施設「光海学園」／通所施設「デイセンター 永耕」など



曾我病院は、1932年に30床の精神科病院としてスタート。今日では小田原市内に3法人14施設、さらに横浜市に2施設を展開する公益財団法人積善会グループの中核病院の役割を果たし、精神疾患の急性期治療、精神科リハビリテーション、認知症疾患の治療、精神疾患の身体合併症治療、精神科地域生活支援などに力を注いでいる。同病院の事務部総務課は、曾我病院のみならず法人内の労務・経理・購買などの業務全般を担っている。

事務部総務課では、長年にわたり給与計算を業者に委託してきたが、紙媒体のフォームに転記する必要があるなど二度手間、三

度手間を強いられるだけでなく、計算結果を他の処理に再利用できないといった課題を解決するために、2011年1月より『ZeeM人事給与』の本番運用をスタート。給与計算の下準備のための労力が大きく軽減されただけでなく、データの再利用が可能になったおかげで業務の効率化が一気に進んだ。

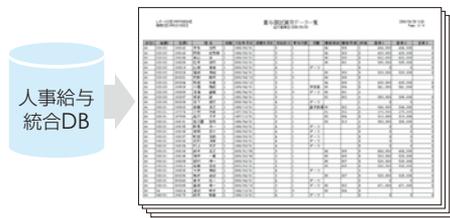
事務部総務課では、院内のデジタル化をさらに進めていくことで、同院が目指す「地域に開かれ、地域ニーズに応える医療・福祉の拠点」の実現を支援していきたいと考えている。



- 外部委託していた給与計算の下準備が大変なだけでなく、データの再利用もできなかった。
- 紙媒体や複数のソフトで各種データを管理していた、データの取り出しに手間が掛かっていた。
- 経営・本部が経営判断に利用するデータの再集計に時間がかかっていた。
- 紙媒体への転記作業がなくなり、データの再利用も可能になり、労力が軽減された。
- 職員情報に紐付いた形で、さまざまなデータを管理できるため、業務が効率化した。
- 経営層から求められる各種資料をタイムリーに提供できるようになった。

「任意検索」と「汎用項目」を駆使して、 経営層や所属団体が求めるデータを素早く集計。

任意検索機能



任意検索機能とは

ZeeM人事給与の任意検索機能は、ZeeMで管理している人事情報、給与情報の中から任意で好きな項目を条件抽出し、画面照会、CSV出力、excel出力ができる標準機能です。ZeeMは、データベースのテーブルレイアウトを公開した人事・給与統合システムのため、全ての管理項目を対象に、人事情報と給与情報をマージした抽出ができ、二次加工の手間を省略することができます。経営報告用の統計資料や人員表の作成、他システムとのデータ連携など、効率的な人事データ活用を実現します。

既存の給与計算のやり方には、どのような課題がありましたか？

ZeeMの導入前は、専門業者に給与計算を委託していましたが、業者にデータを渡すための下準備が大変でした。当時、職員データや給与・昇給に関するデータはそれぞれ異なるオフィスソフトで管理している状態で、しかも業者に給与計算を依頼する際には、パソコンで集計したデータを、入力用の紙帳票に転記しなければなりません。計算結果も紙帳票で受け取っていたため、そのままではデータを再利用することもできません。保険料の算定基準を求めたり、法定調書を作成したりする際には、データの再入力か、あらためてメディアの形でデータを再購入する必要があります。また、ハローワークに離職者の失業保険を申請する際には、過去1年分の離職者の給与記録を保管している紙媒体からコピーして離職票に添付しなければならないなど、多くの作業で二度手間、三度手間が発生していたのです。

どのような経緯でZeeMを選定したのでしょうか？

取引先のベンダーに声を掛けたり、Web上で人事給与パッケージを検索したりして、いくつかのベンダーに問い合わせ、最終的にZeeMを選びました。実は、クレオマーケティングさんに問い合わせた時点では、ZeeMのことはまったく知らなかったのですが、ネット上での評判は高いようですし、なによりも実績や機能、拡張性において他社に遜色がなく、コストパフォーマンスも優れていることが高評価につながりました。決め手となったのは、「データを吐き出す力」といいますか、データを自由に扱える「任意検索」や「汎用項目」という機能です。また、一般の企業とは異なり、病院は早番手当や夜勤手当などの処理が複雑なことから、他病院での実績も重視しました。

「任意検索」や「汎用項目」はどんな用途に利用していますか？

「任意検索」は、各種団体からアンケート調査や経営・本部から資料を求められたときに役立っています。いままでは紙媒体や各種ソフトなどにばらばらにデータが保存されていましたから、該当

するデータの集計に大変な労力を必要としていました。それが、ZeeMの導入後は人事給与関連のデータはすべて集約されていますし、「任意検索」を使って簡単に取り出せるようになりました。一方、「汎用項目」は職員が通勤に使っているクルマの管理や、共済組合の登録番号・等級などの管理を行っています。ZeeMを使い始めるまでは、まさか人事給与パッケージで車両管理ができるとは思っていませんでしたが、職員情報に紐付いているため大変便利です。また、「汎用項目」で管理している項目を「任意検索」で抽出することもでき、例えば、退職金共済の登録番号や等級の一覧を取り出すようなことも簡単に行えます。

導入効果をお聞かせください。

紙媒体への転記といった二度手間、三度手間が解消されたうえ、データの再利用が可能になったことで、作業の効率化や労力の軽減が実現しました。また、求められた資料をすぐに集計して提出できるようになったため、事務長や経営・本部からも高く評価してもらっています。



ZeeMを選んだ理由は『データを吐き出す力』といいますが、データを自由に取り出せる汎用性の高さを評価したからです

公益財団法人 積善会 曾我病院
事務部総務課
主任

山内 智樹 氏



左から山内主任、熊谷(クレオ)

本事例のより詳しい取材記事をWebサイトでご覧いただけます。

<https://www.zeem.jp/instance/casestudy-soga/>

お問い合わせ

 株式会社クレオ

〒140-0002 東京都品川区東品川4-10-27 住友不動産品川ビル 12F
TEL:03-5783-3540 FAX:03-5783-3541 E-mail:info.zeem@creo.co.jp
製品情報: <https://www.zeem.jp/>